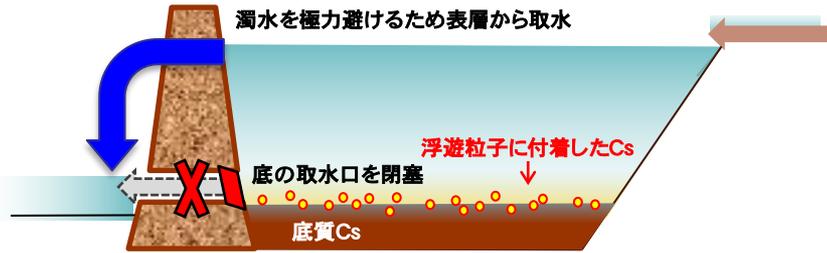


拡散抑制工法

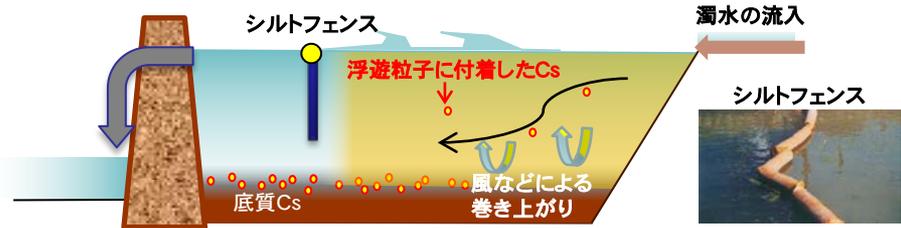
① 取水位置の変更



底質の混入防止のための取水位置の変更（表層取水）  
 ・池底の底樋からの取水では、底質が混入しやすいことから、表層の貯留水を取水できるよう構造を変更する

拡散抑制工法

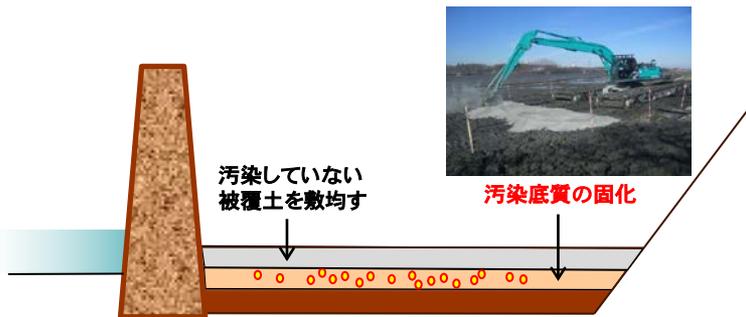
② シルトフェンスの設置等



底質の巻き上がり防止装置（シルトフェンス）  
 ・シルトフェンスを設置することで、水面付近の流れを遮断し、放射性セシウムを含む濁水の懸濁物の沈降を促進するとともに、底質の巻き上がりを防止する

拡散抑制工法

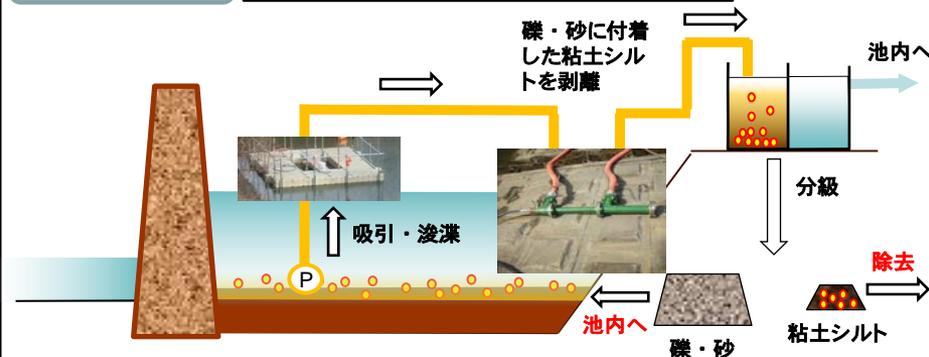
③ 固化・被覆



底質の巻き上がり防止（底質固化・被覆）  
 ・放射性セシウムを多く含む池敷表層の底質をセメント系固化材で固化し、その上に汚染していない被覆土を敷均して汚染底質の巻き上がり防止と水位低下時の空間線量への影響を低減する

除去工法

④ 除去・減容化



放射性物質の除去・減容化  
 ・水中の底質を吸引後、エジェクターにて底質の細粒分を剥離し、さらにふるい分け・凝集沈殿により細粒分のみを取り出し、回収する。放射性セシウム濃度の低い粗粒分は池敷に戻す